

2025年度 専門高校(学科)・総合学科生徒 対象選抜入学試験

2025 年度専門高校（学科）・総合学科生徒対象選抜入学試験については、学部により試験日に筆記試験を実施、または事前に課題提出を課しました。各学部の選考方法は以下のとおりです。

学部	選考方法
経済学部	筆記試験（小論文）
文学部哲学科	筆記試験（小論文）
文学部史学科	筆記試験（小論文）
文学部社会学科	筆記試験（小論文）
文学部文学科 英語英米文学専攻コース	筆記試験（小論文）
文学部文学科 日本語日本文学専攻コース	筆記試験（小論文）
データサイエンス学部	課題提出（小論文）
地球環境科学部	課題提出（小論文）

出題内容は、次ページよりご確認ください。

2025年度 専門高校（学科）・総合学科生徒対象選抜入学試験問題

（試験時間60分）

経済学部

下記の文章は、「温室効果ガスの排出量削減」に対する日本や世界各国の取り組みの経緯をまとめたものである。文章の通り日本は、京都議定書とパリ協定に対して批准している。

これ（日本が京都議定書やパリ協定に批准し、温室効果ガスの削減にコミット^{注1}したこと）に対してあなたは賛成か反対かを600字以上800字以内で、意見を論理的に述べよ。賛成・反対、いずれの意見を述べる場合においても、根拠を明確に説明しつつ論を展開すること。また、賛成・反対、いずれの立場においても、「温室効果ガス削減にコミットする（もしくはしない）ことによって生じる利益（便益）と不利益（費用）」に着目しつつ論じること。

日本やその他の国では、公害問題はかつて国内（さらには地域）の問題であった。公害の影響は、地理的には都市や湾、工場の風下や下流域に限定されており、通常は一国の国境内にあると考えられていた。しかし、1990年代以降、地球温暖化の脅威が多くの国にとって最大の環境問題として浮上してきた。化石燃料の燃焼による温室効果ガスの蓄積によって地球規模で気温は上昇し、海面上昇をもたらし、（環境破壊はもちろんのこと）経済的にも深刻な被害を世界中にもたらした。温室効果ガスの90%以上は二酸化炭素である。

国連は気候変動枠組条約を採択し、締約国会議（COP）は地球温暖化を抑制するための国際的な協議・意思決定機関となった。第1回目のCOPは1995年に開催され、第3回目のCOPは1997年12月に京都で開催された。この会議では、京都議定書と呼ばれる、歴史的に重要な、法的拘束力のある合意が結ばれ、先進国は温室効果ガス排出量を削減することに合意した。各国は、2012年までに1990年比で6～8%の排出量を削減することになった。しかし、先進国とみなされていない国は、削減を約束する必要はなかった。先進国は、国内の排出量を削減することで削減目標を達成する必要はなく、また、排出量の削減は、排出量取引やクリーン開発メカニズム（例えば、先進国から途上国への排出量削減のための資金援助や技術援助）によっても達成することができた。

米国は温室効果ガスの排出量を1990年比で7%削減することを約束したが、米国議会は京都議定書を批准せず、最終的には否決した。中国は「先進国」ではないと思われていたためにまったく削減にコミットしなかった。

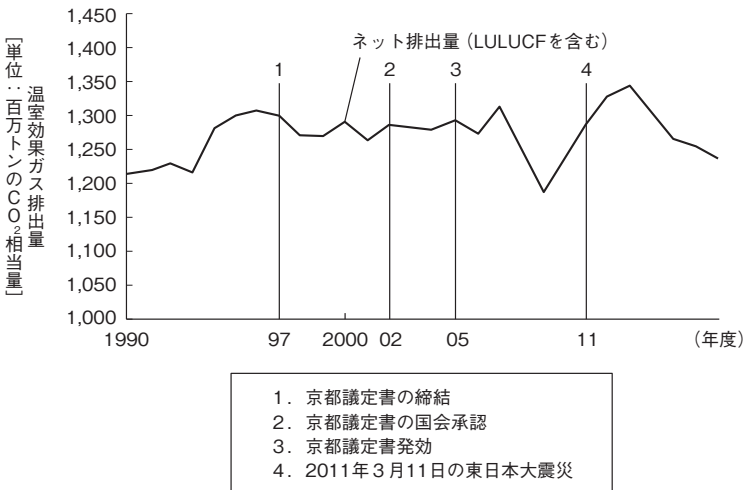
日本は温室効果ガスの排出量を1990年比で6%削減することを約束したが、京都議定書が採択された1997年の排出量は図14.14が示すように、1990年比で7.2%の増加となった。そのため、日本は2012年までに排出量を13%以上削減しなければならなかった。このことは、日本の国会が議定書を批准することを妨げるものではなく、2002年に日本が批准し、2005年には世界の多くの国が批准したため、世界的に発効された。図14.14は、日本の排出量の推移を示したものである。

京都議定書は、各国が定量的な排出量目標を定め、他の参加国との取引を可能にする国際レベルのキャップ&トレード方式として理解される。1990年レベルの排出量がベンチマークとされている。日本は、国際的なキャップ&トレード方式に署名したものの、同様の方式は導入していない。しかし、2010年までに、再生可能エネルギーへの補助金、原子力発電への支援、クリーン開発メカニズムの利用など、様々な温室効果ガス排出量削減政策を採用してきた。これらの政策は、2009年の深刻な不況と相まって、2009年と2010年の日本の排出量を削減した。

2011年3月の東日本大震災と、それに伴う津波による福島第一原子力発電所のメルトダウンにより、日本は温室効果ガスの排出量を削減するために原子力発電に頼るという選択肢がなくなった。福島での事故後、すべての原子力発電所が停止した。発電能力の低下は、ガスタービンによる小規模発電所の建設や、それ以前に行われていたようなエレベーターの停止や消灯などの伝統的な省エネ対策によって部分的に補うことができた。図14.14は、2013～2014年に排出量が急増したことを示している。2015年から2017年にかけて排出量は減少したが、2017年の排出量は依然として1990年のレベルを上回っ

ている。このように、福島での事故は、京都議定書の目標達成に向けて日本が行った努力を台無しにした。

米国が京都議定書に参加せず、含める価値がないと思われていた中国が第2位の温室効果ガス排出国となり、2000年代半ばになると京都議定書は望みがないものと思われた。米国と中国の二カ国で世界の温室効果ガスの40%が排出されている。COP21での交渉により、2015年12月にパリ協定が結ばれた。パリ協定は、二つの重要な点で京都議定書と異なる。第一に、中国などの途上国が署名国に含まれていることである。第二に、排出削減目標は各参加国が自主的に設定するため、参加することへの政治的な抵抗を最小限に抑えることができる点である。



パリ協定には、COP加盟国196カ国すべてが含まれた。日本、米国、中国、欧州連合がすべて批准し、2016年11月に発効した。パリ協定では、日本は温室効果ガスを2013年比で26%削減することを約束した。福島での事故の影響で2013年の日本の排出量は高くなったのだが（その年の排出量は異常値であった）、それでも厳しい目標水準ではある。この目標を厳守することは、日本の成長のための供給制約になるかもしれない。

注1）「コミット」とは、積極的にかかわる、結果を約束すること、を意味する。

出典（文章および図）：伊藤 隆敏・星 岳雄・祝迫 得夫（訳），原田 喜美枝（訳）（2023）『日本経済論』（pp.785-786）、東洋経済新報社。（Kindle 版）

2025年度 専門高校（学科）・総合学科生徒対象選抜入学試験問題

（試験時間60分）

文学部

◎哲学科

- ① これまでに読んだことのある「哲学」に関する本を一冊挙げ、その内容を紹介し、そこで論じられているテーマについて自分の見解を述べなさい。
- ② ①で述べたことを踏まえて、入学後どのような研究を行いたいのか、明確に論じなさい。
- （①②あわせて600字以上800字以内）

◎史学科

あなたが入学後に史学科で取り組んでみたいと思うテーマについて、その具体的な内容や、あなたの考えなどを、600字以上800字以内で述べなさい。

◎社会学科

次の論題の中から1つを選び、それについて説明したうえで、あなたの考えを800字以内で文章化しなさい。なお、解答に関しては、選択した番号を解答用紙の冒頭に明記すること。

- ① 機会の不平等
- ② 消滅可能性自治体
- ③ ジェンダーギャップ指数

◎文学科 英語英米文学専攻コース

専門高校（学科）・総合学科で学んだ上でなぜ英語英米文学専攻コースを志望するに至ったか、また、入学後はどのような分野の勉強に取り組んでどのような力を身につけたいか、そしてそれを卒業後どのように生かしたいか、できるだけ具体的に800字以内で述べなさい。

◎文学科 日本語日本文学専攻コース

あなたが高校在学中に興味を持った日本文学や日本語学に関連すること（作品や作家、文芸事項など）を取り上げ、どのようなところに興味を持ったか、その興味を深めるために何を調べたり読んだりしたかについて、800字以内で述べなさい。

課題（小論文）

2025年度 専門高校（学科）・総合学科生徒対象選抜入学試験 課題（小論文）

データサイエンス学部

〈出題内容〉

あなたが専門高校（学科）あるいは総合学科において専門的に学んだ分野の発展に、データサイエンスの知識や技術はどのように利活用することができるだろうか。あなたの考えを述べなさい。
800字程度。

課題（小論文）

2025年度 専門高校（学科）・総合学科生徒対象選抜入学試験 課題（小論文）

地球環境科学部

〈出題内容〉

【環境システム学科】

あなたが身近に感じる自然環境の問題について1つ取り上げ、その概要をまとめるとともに、問題解決に向けてどのような対策を講じるべきか、あなたの考えを述べなさい（800字以内）。

【地理学科】

あなたが学んでいる専門高校（学科）・総合学科における学習内容は、地理学科での学びにあたってどのように生かせるか、具体的に説明しなさい（800字以内）。